

コロナ禍におけるボランティア依頼の注意点

(施設・団体編)

◆施設や団体で独自に作成されている感染防止対策のルール等がありましたら、事前にボランティアセンターにご提出をお願いします。

以下の内容は、全国社会福祉協議会発行(令和2年7月22日)の「[新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方](#)」を参考に作成しました。

ボランティア受入前の準備と活動中の注意点

・施設利用者やスタッフの健康観察を行う

(次の項目で1つでも該当する方がいる場合は依頼を中止してください)

★発熱(37度以上または平熱より1度以上高い)がある

★咳やのどの痛み、違和感がある

★身体のだるさ(倦怠感)を感じる

★臭覚・味覚の異常がみられる

★家族、同居する人に上記症状がある。もしくは感染者がいる

・ボランティア活動者の健康確認を行う

・入口等に手指消毒液等を設置する

・会場(ドアノブ・机・椅子の背もたれ・使用する備品など)等を消毒する

・手洗い場に石鹸・ペーパータオルを設置する

・当日の参加者を把握するため、名簿を用意する

・人と人との距離が保てる座席配置にする【密接回避】

・活動場所の収容人数を定数の50%以内に設定する【密集回避】

・30分毎に換気を行う(2方向の窓を5分程度全開にする等)【密閉回避】

・マスクを着用する

・物の共有はできるだけ避け、共有した場合は消毒や手洗いを行う

・熱中症予防に努め、活動時間や内容の工夫、または水分補給ができる場所を確保する

注) 新型コロナウイルス感染症に罹患した方とボランティアが接触した可能性がある場合は、下記ボランティアセンターへ至急お知らせください

地域福祉・ボランティアセンター TEL:047-320-4002 月～金 8:40～17:40

行徳ボランティアセンター TEL:047-356-0007 月～金 9:00～17:00